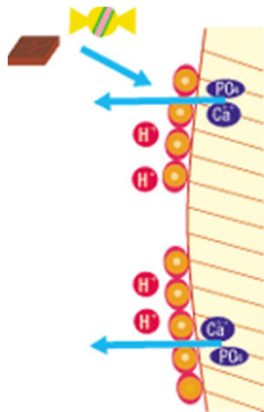


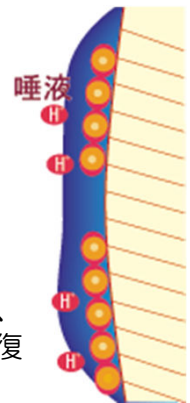
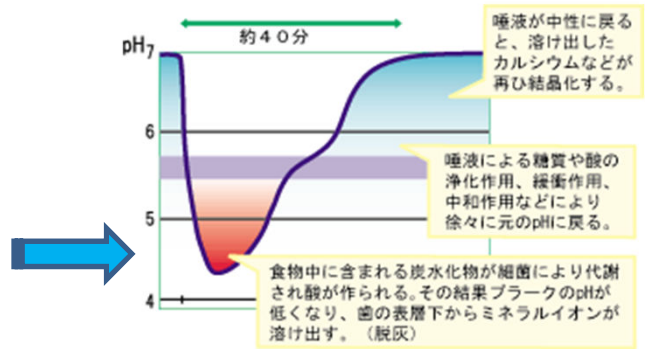
脱灰 再石灰化

1日の中で飲食をするたび、脱灰と再石灰化が繰り返し行なわれます。脱灰と再石灰化のバランスが崩れ、脱灰が進むと虫歯ができてしまいます。

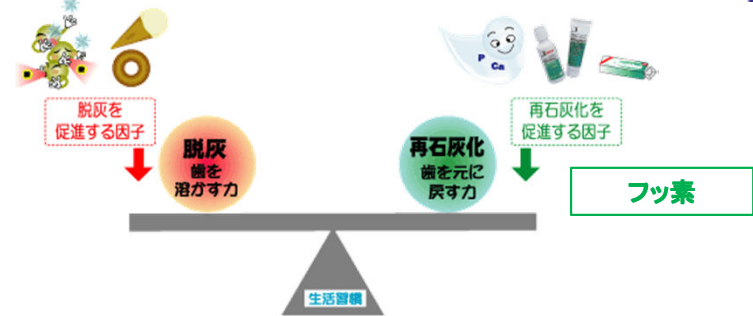


飲食をすると、プラーク中の細菌が酸を作り出します。臨界PH（歯の表面が解け始める限界値）以下になると、歯の表面からカルシウムイオンやリン酸イオンが溶け出します。この現象を脱灰といいます。しばらくすると、唾液の働きにより細菌の作り出した酸を洗い流す作用や、緩衝能による中和作用によって、溶け出したカルシウムイオン・リン酸イオンが歯の表面に戻ります。脱灰した部分を修復してくれます。これが再石灰化です。

プラークpHと脱灰・再石灰化

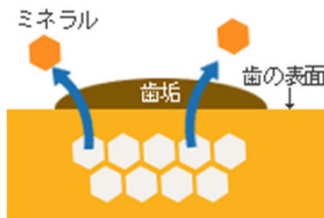


食事をするすると2~3分で脱灰が始まります。食後30分~40分すると、再石灰化が始まり、歯の表面から溶け出していた成分が戻り歯は修復されます。

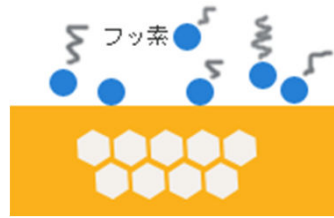


脱灰と再石灰化のバランスを保つには、規則正しい食生活と正しいブラッシングが大切です。

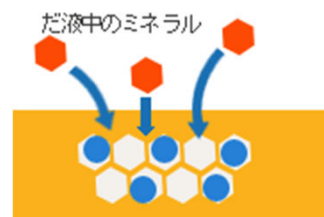
フッ素の効果



1...ミネラルが溶け出して初期虫歯が形成



2...フッ素が歯の表面に吸着



3...初期虫歯部分へ、フッ素やだ液中のミネラルが取り込まれ、4...初期虫歯が再石灰化される

フッ素は再石灰化を促進

